

2023.11.30 (木)  
第 20 回例会  
(通算3735回)

## 2023-2024 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第85代会長 後藤 公貴  
副会長 樋口 貴広  
幹事 佐藤 貴之  
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00  
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル  
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F  
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2023-2024 年度  
国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう  
2023-2024 年度  
RI 会長 ゴードン R. マッキナリー  
第 2500 地区ガバナー  
鶴見 誠一郎 (釧路港 RC)

月間テーマ ロータリー財団月間

本日のプログラム 「年次総会・会員卓話」(理事会)

次週例会 「ロータリーカップアイスホッケー大会報告会」(青少年奉仕委員会)

- ロータリーソング：それこそロータリー ■ ソングリーダー：八幡 好洋君
- 会員数 101 名
- ビジター
- ゲスト

### 会長の時間

後藤 公貴会長



皆さん、こんにちは。本日は年次総会ということで次年度の大切な人事、そして昨年度の決算、そして今年度の報告という大事な案件がございます。ぜひ最後までのお付き合いをよろしく願いたします。

先週末に第 30 回目の釧路ロータリーカップが無事終了いたしました。準備にあたっていただいた奉仕プロジェクト委員会、青少年委員会の皆さま、大変ありがとうございました。お疲れさまでございました。そして開会式、閉会式とご参加くださいました会員の皆さまにも心より感謝を申し上げます。

残念ながら釧路勢の優勝とはなりませんでしたが、決勝戦は、清水高校対武修館高校で、3 対 2 のスコアで清水高校が優勝されたと釧路新聞には載っております。皆さんご存知のように氷都釧路と言われているこの街ですが、アイスホッケーという競技を取り巻く環境は大変厳しいものがあります。実業団チーム、そしてプロチームがなかなか存続できない状況にもあります。そして高校アイスホッケー界においても少子化、そして競技人口離れがありまして今回釧路勢は武修館高校、湖陵高校、江南高校、工業高校と 4 チームが参加

したのですが、工業高校では 11 名の登録メンバー。そしてわが母校である江南高校に至っては 7 名の登録ということで、まともに試合ができないみたいになって、一人もけが人が出せないのでもう力を入れてできない旨、先生たちからご報告があったように残念な状況になっております。

情報集会の中で荒井君が申し出ていたのですが、このロータリーカップの存続自体を今危惧する状況になっています。先日のパスト会長会の中でも、パスト会長の皆さんには私からご報告をさせていただいたのですが、今年中にはこのロータリーカップの決算が出るということですので、その決算報告を受ける席上で、工業高校、武修館高校等々の指導者の皆さまと、このロータリーカップ自体をどうしていくのかの話し合いを持たせていただこうと思っております。

個人からの考えからすると、マイナー競技でやっているわれわれの役割が終わったから、もうここで 30 回の切りの良いところだし止めてしまおう、という意見もあるかと思うのですが、マイナースポーツになればなるほど、そして栄華を誇ったアイスホッケーという競技から私たちが手を引いてしまうことは簡単なのですが、更に一步踏み込んでこの競技をもっと盛り上げていく方法がないのかを目指して話し合いの場に着きたいと思っております。

当然、話し合いの結果は、またこの例会の場で皆さまにお伝えさせていただきたいと思っております。これは今日

決まる次年度以降の役員も含めて、私どもに一旦お預けをしていただくことをご了解していただければと、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

最後になります。先ほど申しあげましたとおり、本日年次総会。そしてその後、会員卓話でNTT東日本釧路営業支店長沢田君のお話を聞く機会であります。皆さまのご協力で今日一日が素晴らしい良い記念日になりますことを祈念して、わたしからのご挨拶とさせていただきます。

本日一日、どうぞよろしくお願ひいたします。

### 幹事報告 佐藤 貴之幹事

皆さん、こんにちは。幹事報告になります。まず第5回理事会議事録を掲示しておりますので掲示板のご確認をお願いいたします。続きまして、網走70周年創立記念の参加のお礼が届いております。こちらも掲示板の方に掲示しておりますのでご覧ください。続きまして、12月3日日曜日より会長を含め私も台北の方に行っておりまして。戻りますのが12月6日水曜日になっております。この間の事務局業務は大山さんが通常通り業務をしております。樋口副会長が残っておりますので、その間、何かございましたら樋口副会長にご連絡いただければと思います。以上、幹事報告となります。

### お知らせ 大道 光肇君



こんにちは。大変ご無沙汰しております。年取った坊さんが結構モテるんですね。あちこちから声が掛かりまして、結構、出張が多かった

のです。ロータリ出席が悪くて本当に申し訳なく思っております。

今回のことについて皆さんのお手元にパンフレットをお渡しさせていただきました。これは大本山総持寺の瑩山様という14世紀初めのころの方ですが、全国に一万五千ヶ寺あるのは、この瑩山様のおかげでございます。私としては永平寺を開いた道元禅師はお父様。それから瑩山禅師はお母さま、ということで両本山は同格本山ですけれども、両親としてあげております。

こういうのはどこの宗派にもないことですが、ときどき夫婦喧嘩をすることはありますが、一応、ともに携えて修行のために頑張るということですが、その瑩山様の



700回忌というのが来年ございます。50年に1度の大法要ですが、その特別企画としての世界禅チャレンジということ。どういうことかということ、日本7ヶ寺で今年から来年にかけて、本山と結んでYouTube配信でされるということです。それが終わりますと、アメリカあるいはヨーロッパのイタリア、フランス等に禅の寺がございますので、それと本山とを結ぶということで、それで世界禅チャレンジということになります。

その第1回目が私のお寺で、12月10日午後2時から行われます。皆さんには禅というものはどんなものか、身をもって体験していただきます。大広間に100人位入るのですが、そこに用意させていただきまして、老若男女、足の不自由な方は椅子で座禅をする。私も足に水が溜まりまして今は椅子座禅にしておりますけれども。どなたでも参加できて、無料ですし、いろいろなお話もありますし、宗派も関係ありません。神様も仏様も関係ありません。皆さんに参加していただいて心安らかに座っていただくこととございます。クイズ番組、あるいはいろいろなお土産もございまして、少しでも多くの方に参加していただければありがたいことです。どうぞよろしくお願ひいたします。

### 公益財団法人釧路ロータリー嵯峨育英会理事

#### 西村 智久君

こんにちは。本日、2年に1度の北海道の監査を受けまして、大変厳しい指摘がございました。このままでは、公益財団をなく奪されかねないという、スケジュール的な問題ですが理事会・評議会を定期的にやらないといけないということは、前回は指摘されているのですが、なあなあになっておりました、大反省するところであります。

次回からは、これに則って進めて行きたいと思っております。甲賀さんにも一緒に立ち会っていただいて、厳しい意見にカッと甲賀さんが怒るところがありましたので、報告していただきたいと思っております。



### 報告 甲賀 伸彦君

今日、9時から11時くらいまで北海道から2名の方がいらっしやいました。いろいろ書類的なもの、数字的なものを監査受けまし



た。書類を見て、実際と比べて「ウソでしょう」と言われて、カチンと来て「ウソという言い方はまずいでしょう。どうすれば書類上は大丈夫なのでしょう。実際にどうやれば大丈夫なのですか」ということで取りまとめました。

育英会に関係の方は最低限やるべきことを取りまとめましたので、あとでメールさせていただきたいと思っています。

なお、今まで、こんなことができるのかという部分です。育英会には評議員の方がおります。それを理事会と一緒に集まってもらってやっていたのですが、「このロータリークラブの例会の中でやってもよろしい」と言われましたので、すると皆さんのご負担も少なくなることで、いろいろな部分で改善をしていきたいと思っています。

### ■本日のプログラム■ 「年次総会・会員卓話」

#### 司会

これより 2023-2024 年度年次総会を始めます。

釧路ロータリークラブ細則第4条第1節により、後藤会長に議長をお願いいたします。

#### 議長 後藤 公貴会長

あらためまして、こんにちは。議長を仰せつかりました後藤です。不慣れですが円滑な議事進行に努めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

それでは釧路ロータリークラブ細則第5条第1節に基づき年次総会を始めます前に、定足数の確認と本日の出席状況を司会よりご報告いたします。

#### 司会

定足数は釧路ロータリークラブ細則第1条の5に基づき会員総数の三分の一となります。本日11月30日現在の会員総数は101名。従いまして定足数は34名となります。

本日の出席者は47名ですので、本総会が成立することをご報告いたします。

#### 議長 後藤 公貴会長

ありがとうございます。ただいまご報告ありましたとおり本日の年次総会は成立することですので、よろしくお願いいたします。

次に、議題の確認を行います。本日の議題は3点で



す。第1号議案、2024-2025 年度釧路ロータリークラブ理事・役員選挙について。第2号議案、前年度の財務報告及び現年度の収入と支出を含む中間報告。第3号議案、その他となります。

確認させていただきます。第3号議案のその他をお持ちの方はいらっしゃいますか。いらっしゃらないですね。それでは、第3号議案を削除させていただきます。今日は2案件の議題とさせていただきます。

それでは、第1号議案、2024-2025 年度釧路ロータリークラブ理事・役員選挙について、次々年度会長、会長ノミニーの候補者の決定について私から上程を行います。

釧路ロータリークラブ細則第3条第1節に基づき、11月2日に次年度役員及び理事の選挙を告示し立候補を募りましたが、11月12日の立候補締め切りまでに申し出がなかったことを受けて指名委員会を設置させていただき、11月17日の指名委員会を開催。推挙させていただく候補者を決定させていただきました。

それでは、次々年度会長候補者を発表させていただきます。指名委員会において満場一致で可決、決定をさせていただきました荒井剛君を推挙させていただきます。

荒井剛君は2011年3月10日の入会、以来12年間、理事を2度、小委員長を4度歴任され、2020-2021年度には幹事を拝命。第2500地区においても主に国際奉仕・ロータリー財団部門で長年に亘りご活躍されており、ロータリー活動に関するご経験ご見識はもちろん釧路ロータリークラブを愛する想いにおいても会長職にふさわしい人物であること、さらに年齢も現在50歳とお若く、クラブの未来を託すことのできる人材であるとの判断から次々年度会長に推挙をさせていただきました。

皆さまの拍手をもってご承認いただければと思います。いかがでしょうか。

(拍手)

大きな拍手をありがとうございます。全会一致での承認とさせていただきます。

それでは、会長ノミニーとなりました荒井剛君よりご挨拶を頂戴したいと思います。

どうぞ、ご登壇ください。

#### ご挨拶 荒井 剛会長ノミニー



皆さん、こんにちは。ホッとしました。ありがとうございます。

いまご紹介いただきましたとおり、私は2010-2011年度、

尾越さんが会長の時に、東日本大震災が起きる1日前に入会をしました。それから、はや12年が経ちました。もともと私は釧路出身ではないので、釧路に弁護士として来て10年近く事務所を構えて、釧路で行こうと、当時、泉先生に話をさせていただきました。そうしたら「釧路ロータリークラブに入ったほうがいいのでは」と言っていただきまして、泉先生と去年亡くなられた浅野洋さんの二人のスポンサーの下、歴史と伝統のある釧路ロータリークラブに入会させていただきました。

もともと釧路ではないこともありまして、当然友人も少なかったですが人脈も広がりました。また釧路ロータリークラブをとおして社会奉仕活動だったり、国際奉仕活動でいろいろな所に行かせていただきました。タイ、ブータン、台北、韓国。日本国内でも吉田さんが会長の時に福島に水を配りに行く社会奉仕プロジェクトにも参加させていただきました。そのようないろいろな体験をさせていただきました。本当に感謝を申し上げます。

ところで今年の3月、ロータリークラブとは関係のない用事でアメリカのシカゴに行くことがありました。シカゴといえば国際ロータリークラブ発祥の地です。たまたま3時間位の時間があつたので、これはいい機会と思って、どこで発祥したのか、もともとのあつた場所はどこなのかをシカゴの街を歩いたりしたので。当時のシカゴロータリークラブの場所はなかつたのですが、その訪ねた時にふと私はロータリークラブとはどういうクラブかいまだにはっきり分かっていないのですが、自分の活動を振り返ってみて、なんだか言いながら私はロータリークラブが好きななんだなあとそのとき思いました。もちろんその時は後藤会長から今回の会長ノミニエの話を受ける前でして全く意識していなかつたのですが、今年の3月に私はロータリークラブが好きなのではないかと思つた時でしたので、9月に後藤会長から話をいただきまして、お受けすることにいたしました。

ロータリークラブそのもの、ロータリアンとして誇りを持っていいのではないかと、それも釧路ロータリークラブに所属していることに誇りを持っていいのではないかと胸を張って言いたいと、気持ちがあつて高まってきました。

これから1年半くらいありますので、もっともっとロータリークラブそのものを勉強して行きたいと思つていますので、皆さま、今後ともよろしく願いいたします。

ありがとうございます。

#### 議長 後藤 公貴会長

荒井君、ありがとうございました。

続きまして、2024-2025年度の理事候補者につき

まして、高橋会長エレクトより発表をお願いいたします。ご登壇をお願いいたします。

#### 2024-2025年度理事候補者発表

##### 高橋 直人会長エレクト



本日の総会にて理事の候補者の発表をさせていただきます。2024-2025年度釧路ロータリークラブ理事者候補の上程を行います。

お名前を呼びますので、呼ばれた方はその場でご起立をお願いいたします。

理事・吉田英一君、理事・東堂光春君、理事・舟木博君、理事・甲賀伸彦君、理事・後藤公貴君、理事・荒井剛君、理事・濱口憲太君、理事・曾我部元親君、理事・八幡好洋君、理事・西村智久君、そして私、会長を務めます高橋でございます。

理事の候補者として推挙させていただきますので慎重な審議のほどをよろしく願いいたします。

#### 議長 後藤 公貴会長

いま発表になりました理事候補者の皆さま、ぜひ皆さまの大きな拍手でご承認とさせていただきます。

(拍手)

#### 議長 後藤 公貴会長

全会一致のご承認とさせていただきます。ありがとうございます。

それでは高橋会長エレクトからご挨拶を頂戴いたします。理事候補の皆さまはお座りください。

#### ご挨拶 高橋 直人会長エレクト

本日、理事候補者の方をご承認いただきありがとうございます。

歴史と伝統のある釧路ロータリークラブの会長として次年度の一年間、しっかり務めさせていただきますことをお約束しまして、会員の方々のお力添えもいただきながらやって行きたいと思つていますので何卒よろしく願いいたします。

以上で私のあいさつに代えさせていただきます。よろしく願いいたします。

#### 議長 後藤 公貴会長

第2号議案に移ります。前年度の財務報告及び現年度の収支と支出を含む中間報告について、まず前年度の財務報告を滝越康雄直前会長よりお願い申し上げます。

## 前年度財務報告

### 2022-2023 年度会長・滝越康雄直前会長



こんにちは。明るい近未来、向こう2年の明るい話の後にいきなり旧バージョンが登場して恐縮です。まだ古い年度が済んでおりませんので、私の年度の最後の仕事で活動報告をさせていただきます。詳しくは事前にメモリで配布させていただいておりますけれども、私も書き込みましたけれども、各大委員長さん、小委員長さんの報告はメモリからじっくりご覧ください。

私の担当として決算に関しては精通している中島幹事よりレクチャーを受けてきましたので報告させていただきます。

昨年度を大まかに言いますと、予算は組んだのですがプラス・マイナスの要素が非常に多くて、変動して「何が」というのを答えにくい決算でございます。

プラスでは、会員が当初予算の96名が決算では104名になっております。あと、予想しない「円安」でR1上納金が増加。そして引き続いて猛烈なインフレ等でプラス・マイナスの要素で非常に変動しております。昨年度の予算は2,727,860円で組ませていただきました。単年の収支で24,137,447円ということで、2,890,413円の繰越金。当初は円安とインフレがなければ3,725,918円の予定だったのですが、社会的情勢の変化で2,890,413円の繰越金で落ち着きました。

その繰越金の配分ですが、先ほど発表がありました嵯峨記念育英会に対し100万円の繰り入れ、クラブ周年事業積立金に80万円、純粋に次年度繰越金を1,090,413円とすることで決定いたしましたので活動報告書に記載いたしましたので、私の年度への皆さまのご協力に感謝して本当に終わります。どうもありがとうございました。

### 議長 後藤 公貴会長

滝越直前会長、ありがとうございました。続きまして、今年度収支の中間報告を佐藤幹事よりお願いいたします。

### 今年度中間報告 佐藤 貴之幹事



本年度の中間報告をさせていただきます。毎月の予算・実績報告書が甲賀会計さんから上って来ております。それに基

づきまして、現在10月までの報告とさせていただきます。

会費収入ですが、皆さまのご協力ももちまして、全体104名のうち95.2%の上期入金をいただいております。若干名の未納の方がおりますので個別で対応させていただきたいと思っております。

事業費の支出です。実際のところ現在は約30%の進捗率となっております。今年度は9月に地区補助金事業を行っておりますので、実際の進捗としては例年よりも少々コストがかかっているかなという状況ですが、円滑なクラブ運営のために下期の会費納入をよろしくお願ひしたいと思っております。下期の請求は来月からさせていただきますのでよろしくお願ひ致します。

以上です

### 議長 後藤 公貴会長

佐藤幹事、ありがとうございました。

昨年度決算、そして今年度中間報告についてご異議ご異論なければ、皆さまの拍手をもって承認とさせていただきます。いかがでしょうか。

(拍手)

ありがとうございます。両件、全会一致で可決承認とさせていただきます。

以上で、本日の議題は終了となります。円滑な議事進行にご協力いただきましたことに感謝を申し上げます。議長は任を解かせていただきます。本日はありがとうございました。

(拍手)

司会

これをもちまして年次総会を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。

### 本日のプログラム『会員卓話』

#### プログラム委員会委員長 八幡 好洋君

プログラム委員会の八幡です。こんにちは。

本日は、会員卓話ということで当クラブメンバーの沢田君にお話をいただきます。

今日のテーマは『スキージャンプと私とオリンピック』と伺っております。とても興味深いテーマだと思いますのでお聞きいただければと思います。

それでは、沢田君、よろしくお願ひいたします。



## 会員卓話 沢田 和泰会員



みなさん、こんにちは。ご紹介いただきましたN T T東日本の沢田です。私、入会の時に「スキージャンプ選手をやっていました」というお話をさせていただきましたので、今日はそれにちなんだ話をさせていただきたいと思います。

先ほどは、釧路はアイスホッケーの街ということでロータリーカップの話もありましたけれども、馴染みがないかもしれませんが私がやっていたスキージャンプの話をさせていただきたいと思います。今日は残り時間10分程度ですので少し飛ばしながらお話させていただきます。

スキージャンプのルールの話です。ルールは新聞など読んでいただければいいのですが、1点だけ昔と今で何が違うかといいますと、私がやっていたころは「飛距離点」と「飛型点」だけでしたが、今は「ウインドファクター」といって風による加点・減点、向かい風が吹いていると有利なので減点、追い風の時は不利なので加点される採点方法と「ゲートファクター」という助走距離による加点・減点。ジャンプは座ってスタートするのですが、その段が1段約50センチです。この高さを変えることで助走距離が違ってくるので、出るスピードも距離も違うのでその加点・減点があるというのが今のルールです。昔は、風が吹いてマグレで飛んで入賞したというのは良くありましたし、私もその一人でしたが、今は選手が平等な条件で採点される仕組みなので、ほぼ実力どおりの世界になっているのが今のジャンプ界の状況です。

そして、スキージャンプの空中フォームも変わって来ています。皆さんはご存知だと思いますけど今はV字スタイルになっています。その前は、クラシカルスタイルといって真っ直ぐそろえるのです。クラシカルには1950年から1990年、この間に変則なスタイルがあって普通は真っ直ぐ飛ぶのですがこの2本のスキー板を体の右か左かに曲げて飛ぶ。そうすると体とスキー板とで風が多く当たって浮力を得られることから、真っ直ぐではなく少し曲げて飛ぶスタイルが流行って、サラエボオリンピックでマッチ・ニッカネン選手（フィンランド）が2冠を達成したのはその飛び方でしたので、私たちも子どものころから少し曲げて飛ぶことを行っていました。

この写真は私でして、クラシカルスタイルということで少し曲げて飛ぶスタイルをやっている、その後、V字スタイルにチャレンジしたのですけれども進化について行けなくて、だんだん低迷して行ったところがこの写真です。

ジャンプは小学校2年生から始めました。中学校で全国大会に出て、高校でインターハイに出たり、と少しずつ上手になってきて、高校2年生の時に世界ジュニア選手権に参加させていただいて、この時一緒に行ったのが荻原健司という「キング・オブ・スキー」の双子と初めて海外遠征を経験させていただきました。その後、高校生で全日本選手権で入賞したりして成績が出ていたのでN T Tに勉強せずにジャンプで採用されたという非情に楽をした人間でした。その後、社会人1年目も順調に成績を残し全日本選手権で2位、これが私の最高成績です。この時に同率2位だったのが、その当時高校1年生だった葛西紀明と同点2位で表彰台にのぼりました。その後、日本代表としてヨーロッパ遠征に行きました。葛西紀明と金メダリストの岡部孝信と遠征して、この写真の右にしているのが私で、全日本のウェアを着て海外遠征したということです。

社会人2年目、シーズンスタートの12月に宮の森ジャンプ競技行で骨折し、その後、直ぐに復帰したのですが、低迷期が長く続きました。そのころから一緒にやっていた仲間が世界で活躍するようになって、そして、V字スタイルが習得できなくて私は引退、競技生活を終えることになりました。

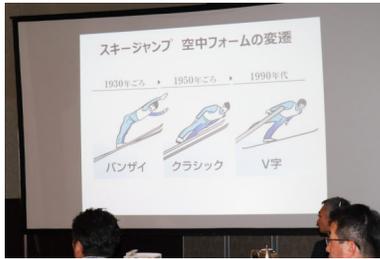
一緒にやっていた方たちの活躍です。アルベールビルのオリンピックで原田雅彦が4位、これはV字スタイルをいち早く取り入れています。この方とは合宿生活も長く、仲よく一緒に遊びに行った仲なのです。私は全然飛べなくて、テレビで見て「ああ、一緒にいた人がこうなるのだ」という思いがあって感動した4位入賞でした。

皆さん、ご存知のリレハンメルオリンピック。「世紀の失速」ということで原田雅彦が最後に失速して銀メダルになってしまった件ですが、個人戦の成績を見ていただくと、ノーマル、ラージヒルと個人戦の入賞者は葛西紀明、岡部孝信、西方仁也となっていて、この時、原田雅彦はあまり調子が良くなかったです。これは、なるべくしてなってしまった失速なのかと感じています。ジャンプ競技は本線に出場する選手以外にも7人くらいオリンピック選手として現地に行っています。出場できなかった補欠メンバーに私の先輩2人と後輩1人がいまして、現地では調子が良くて練習ではほぼ変わらないか上を行くくらいだったようですが、過去実績や大ジャンプができる原田選手に賭けて挑んで2位になってしまったというのがリレハンメルです。

この時、悔しがった葛西選手が言葉では「原田さん、銀メダルで良かったね」と言っているのですが、多分後から「チクショー、悔し〜」と新聞などでも言っていますし、金メダルを欲しかったので髪を金髪にしたというエピソードがあった程「金」に拘っていた彼

でした。

その4年後の長野オリンピックで『団体金メダル』です。この時の船木和喜、原田雅彦は力としては強くて、岡部孝信も安定していて、ここに斉藤浩哉がいるのですが私の高校の直の後輩でして、実績だけで言えばメンバーは葛西だったのかもしれないです。



斉藤選手はコンスタントに安定して飛べる選手で、ジャンプが上手でいろいろな風でもうまく飛ぶ選手ということで、葛西か斉藤か迷いもあったのかもしれないですが、安定している斉藤を起用しての金メダルでした。

この金メダルの時に私は現地に行っておりまして、団体金メダル前夜の岡部・斉藤選手と撮った写真がこちらです。そしてこの写真が金メダル獲得後で大雪でしたけれども、ここに「No.1 JAPAN」というのが写っているわけですが、このように現地で見守っております。

ここに葛西選手の名前がないのですが、金メダルを取った皆さんは翌日は新幹線で異動して東京での取材で華やかだった一方で選手として出られなかった、メダルを取れなかった葛西選手は私と一緒にの便で札幌に帰ることになったようで、空港に着いて荷物を持っ

て、誰かが迎えに来るのかなと見ていたら来る雰囲気もなく、「お前、どうする」と言ったら「電車かバスで帰ります」というので、空港に車を置いていた私は「だったら、乗って帰るか」と声を掛け、大きな荷物と本人を乗せて札幌まで送り届けました。

車中はどことなく元気がなく、すごく悔しい思いをしてるんだろうな。と感じておりました。そんな悔しくて苦しい思いがあって、あのソチオリンピックラージヒルの銀メダルだと思いますし、彼がその後、頑張った証なんだと思っています。彼は負けず嫌いで、ゲームをやっても人に負けない、何をやっても人に負けたくないという人間でして、そんな彼の頑張りを見ているのは私の楽しみで、いまだに彼は現役なので今も陰ながら応援しています。

選手はやめて、何も手伝いはしていないのですが、陰ながら応援をしているというところです。ローカルなスキージャンプですけど、皆さんもスキージャンプに興味を持ってもらったり、応援していただければ幸いです。

つたない話でしたけれども、選手とのエピソードを交えてお話をさせていただきました。どうもありがとうございました。

## 本日のニコニコ献金

- 後藤 公貴君 ロータリーカップメンバー無事終了しました。週末より台湾に行って参ります。
- 尾越 弘典君 年願成就。息子が行政書士試験に合格しました。
- 大道 光肇君 大変ご無沙汰しております。
- 米本 富夫君 今年の「なゆたの会」で総合優勝することが出来ました。ありがとうございます。
- 市橋 多佳丞君 先日の「なゆたの会」納会にて年間ベストグロ賞を頂きました。

今年度累計 177,000 円